新本古写記

六編

六

へ 甲13
1866
66

特へ
1833
66

宮城県図書館

續本朝圖說六篇卷之六目錄

朝鮮王国平壤城話

牧川調信德智命とはよみ倉し図

和軍のを撓鮮兵と懼ひむる図

朝鮮人夜討日本勢話

日本勢敗と追て大同江を渡し図

平壤落城併唐橋松軍話

平壤落城の図

加藤左馬介援延松軍の図

加藤黨者と戰ひと論ずる図

李舜臣用龜甲船敗日本勢話

目録二葉

豊太閤名護屋帝陣の形勢話

名護屋の陣中溪澗の図

朝鮮を制する長陣の労と歴々落々図

石田三成示謀偽左近話

目録

秋月藩文庫

豊太閤記六篇巻之六

朝鮮王用平壤城

明乃萬暦二十年六月九日朝鮮平壤城名の城中より徳川書命名とる

給日本と和親の事を計んとて扁舟を差せしの中へ溝出せば

日本乃陣中より一艘の小舟を需め柳川侍従平調信従僧玄蘇

両人打のりて先ず東岸より漕出し彼の中へ乗込玄蘇先ず名乗り

日本兵と朝鮮人とを其實を大明兵を討んなりと今朝鮮國既に

偏ひと及ぶ和平陸び大明兵と入るべき路を開きひよ抑ひて朝鮮の

係ることを泰山乃ごとし徳川書命人名先づ安て曰く吾朝鮮は大明の屬國なり

何で日本の兵を引て彼國を討しめん若し我國と和せんとならば先軍

退く退く和親の調信先づ安て大よ如り我軍和

柳川調信
徳壽命
江戸

陰の[illegible]を[illegible]ると[illegible]国と[illegible]の[illegible]へ何ぞ兵と退て後和と帝ん今我
く[illegible]を[illegible]び後を悔むの[illegible]と[illegible]双方勝りの名[illegible]敗いし私と[illegible]へ
[illegible]小西行長は[illegible]を[illegible]大きに[illegible]り[illegible]が速き江を渡り朝鮮王を
捕みせよやと[illegible]義智と兵と合せ[illegible]に東の岸より[illegible]押よせ今も渡り[illegible]
[illegible]より[illegible]久[illegible]び平壌城中より[illegible]と[illegible]下の官人寄集り大王よく驚を出
され日本勢の難と避け[illegible]て迴後の計略とゆ[illegible]され[illegible]び[illegible]と[illegible]の王の
駕と供奉し[illegible]せ小方へと落行て平壌城より[illegible]は柳[illegible]龍人[illegible]数人城
を守て止り[illegible]日の朝城中の軍[illegible]名[illegible]絲光亨の名の上より日本の陣
を[illegible]こんか小西が陣より[illegible]七日[illegible]後[illegible]の兵士六七人は上へ[illegible]と十反玉の
大[illegible]城より向[illegible]くと[illegible]打放し甚[illegible]は小郷[illegible]さ城より山[illegible]雲雷
[illegible]打放し[illegible]の大[illegible]を城て城中より[illegible]の[illegible]打て[illegible]

入[illegible]七すれる者皆[illegible]震[illegible]日本の兵士の中より赤[illegible]
[illegible]を捲げ絲光亨の名のよ[illegible]び[illegible]き者並び
[illegible]く此方と見[illegible]り彼武者[illegible]を小服より迎を賜し[illegible]
打放つ小亨[illegible]る官人二人[illegible]ぐ打倒し朝鮮人甚恐[illegible]強[illegible]
の精兵を[illegible]出[illegible]さんぐ[illegible]より村[illegible]れども日本の兵士妻用の矢
軍して[illegible]
[illegible]

朝鮮人敗[illegible]日本勢

[illegible]ぐに日本の軍勢押ひ[illegible]大同江[illegible]へ押寄せ小西が軍を助く[illegible]
諸[illegible]家[illegible]永政大友義[illegible]九[illegible]面[illegible]小[illegible]川[illegible]系に岸の陣[illegible]と
[illegible]絲布き家[illegible]の[illegible]馬印[illegible]を[illegible]ひ[illegible]て映[illegible]朝鮮人の[illegible]と
[illegible]むされども[illegible]ぞ大[illegible]の切[illegible]て朝鮮人力と[illegible]に[illegible]

朝鮮人
名護屋を
懼る図

対馬を後援し防ぎ守るべし日本勢勇ましくとつどし江を
渡るべきを船に乗り十余日を経て朝鮮の軍勢を
伯各とつの者諸わ小向へ中るに我日本の陣中を遥に伺ひ
の對陣より合戦と退屈せず勢静へ今霊精兵を引率し敵陣を攻討
せば日本勢の英気と強き味方の兵の競と奮ひ我とともに人々い
力と合せ治へやとやれば必ずに勝ちと同心せる大勢の人其勢一万百余
誘引の三方より攻撃者ら必ず船に乗り東の岸に対て日本の陣中と
伺ひ窺ふ敵勝人者を小西の陣へ向
鳴ひて如入う日本勢をひとりざるべし陣中とを攻きそ
討ち箱数百人されも軍に敗れる日本勢逃げ小西の陣へ
を囲み後より包囲と敵ちく敗る雨のごく鉄砲の中より

間を飛ぶく実に是は朝鮮人今の是とそ引よ〳〵と攻ちく大勢
仮人と馬とうせば忽ち地軍前を三記儀の箱数と知れ小西勢
仮間の軍伯を正自ら生を先より捨ひあげて朝鮮の大勢任加藤人と馬
より下に御馬を乗りく朝鮮の軍大に渡へ大事討ち江へ逃出
船に乗べきつとなもちく業因いよく乗りく川上の流潮より歩渡
ちく引た幻日本勢智へ川上の水浅ちで渡せよ〳〵と攻ちて
馬に乗ぐ渡をかぐに陸ぎ出朝鮮の陣へ只尾の解るとくづら
くと孔是矢の一筋も射出ぶる兵者ちくひ崩れに伏とて卒懐
船より入て船戸を固め指にと防ぎ引きれ果てで居うる日本勢
絶の矢江と打渡り船外より鉄砲表せ表へ敗ぐ兵敗勢へ引せ敗ぐ敵中
り虚実知れざるとば猶く人馬の息と休ふる

日本勢
敵と
渡ふく
大はにと
陣取
図

李懐彦城帰唐総軍

此時李懐名の城中は味方の要害大同江の流離と城の時日本勢の[illegible]城外を押寄せられ[illegible]城中の騒動静まり[illegible]相亟柳城龍人自城を出く[illegible]加名

[illegible]は龍城も[illegible]来る[illegible]

[illegible]王李船王名[illegible]高麗～大明へ援兵を[illegible]の嶺を攻

[illegible]李懐名の城中は尹斗壽名令命元名[illegible]

[illegible]も遣られども[illegible]日本の大軍就を磨き力を[illegible]今も

[illegible]勢ひとなせば～[illegible]も易うる此軍兵を防ぎ[illegible]人日

[illegible]く～[illegible]軍勢兵具を地の中に[illegible]

[illegible]の城門を開き城内の軍民悉く順安地名の方を忍び[illegible]

[illegible]朝鮮[illegible]

[illegible]絶え[illegible]候さへ出さるれば歌の地

[illegible]と知らざるされば追討ぶれ歌もなく上下の士卒百姓

[illegible]すで心安く落のびうる三日日本の陣中は此の要

く家々れば小西を始め諸の大名皆城中に迎へ入れ[illegible]

くとさぶ求めど一人の義も見へず[illegible]兵粮十余万石其

[illegible]の折捨日本勢の有と[illegible]

小西の大名先は城と根城とに[illegible]

[illegible]を定め大将小行弓槍[illegible]

[illegible]の大軍と[illegible]

諸於小舎明兵大軍にて[illegible]

来る[illegible]若て加勢の軍兵と[illegible]

平壤城の図

名護屋へ所々度々ゑ日本船の大将九鬼右馬之丞
虎浦坂保右加藤茂松川右衛門元治人名元治人名水軍ととの
朝鮮船の大将李舜臣人名元治人名水軍ととの
日本勢と交へんとす常に彼海中に数船近く来り
五三五三の新て出小船三艘寄ひ合うされい朝鮮の水陸軍列を心
結へと寄ふく秋討朝鮮の用心を固
ゆえ日本の諸将九鬼右馬之丞寒を集り軍の評議を
こうろう加藤茂松喜明進み出るい朝鮮船の軍兵
とりふ之ひの外の大勢をて味方の小勢をて猛に戦ひ
換乗り宜く軍略を定め二戦に勝利を得ること肝要にて後
せんとすれば諸将も同じ急に押寄戦んとすれば

対馬加藤茂松川右衛門と密に謀り嶋国右衛門と陸に
一日物見船と号し国右衛門数十人の逗兵と小船に乗り
て敵の方へ漕出そうと見る後に日ごろ小船六艘加藤が組下の兵士を
乗る九鬼右馬之丞の御船の勢と見てひが軍令と偽り敵船近く船を寄
しでよく出ろく逃ちる引ひそ
ひの若者ども彼方の軍令と出さぬ故に敵に向て船を
出せ何ぞや止まれと船漕出るとも聞て合せ
れが嶋国右衛門を首と其余の兵士ども敵に頻に船を漕
九鬼右馬之丞の勢に敵て軍法に背く者ども我向に入て
て来ん之に船に乗の扇を開き止まれと呼ぶ

加茂
左馬介
援軍
松軍の
図

船と急げば加藤ども勝戦もくと艦船のもづる群を絶て朝鮮の
海陸へ押よせ[illegible]て正中乃李船へ漕よせよとて
[illegible]て[illegible]同じ[illegible]ども忽ち矛を躍せて敵の船へ乗
入[illegible]と[illegible]家臣の合壮李月壮治郎荻野佐左衛門逆掛武勝
[illegible]は[illegible]勇士数十人[illegible]切[illegible]
[illegible]は朝鮮人乗のもて大きに[illegible]船へ乗入て剣を抜き猛を
振[illegible]て対[illegible]左馬助[illegible]船[illegible]
[illegible]ぶり[illegible]者[illegible]と[illegible]
[illegible]船を奪[illegible]乃[illegible]
治郎[illegible]加藤[illegible]七郎[illegible]
其[illegible]は[illegible]治郎[illegible]

騒[illegible]船[illegible]て悪[illegible]て[illegible]
朝鮮船[illegible]恐[illegible]
武勇[illegible]朝鮮の番船百二十艘[illegible]
[illegible]人[illegible]九[illegible]海中へ切捨る[illegible]
[illegible]軍の[illegible]
[illegible]進せ[illegible]
[illegible]番[illegible]船[illegible]
[illegible]加藤左馬助[illegible]
[illegible]人[illegible]

加藤
清正と
戦功と
論ずる
図

陸と何ひぢこの船とはらまれたれども早速有るべきことにはあらざるべし
扨て是と見て小と大と豈同じ〳〵んや是ゆの働きと我と比せば
拙くして及ぶ能はざるを知る虎大の如き悪き雑言
を吾の根と切さげんと力引接て三ツ巴紋甚だ多し合人〳〵三
集りさまざまの策を定め漸くの様子を見る左馬介甚同行隊
と三拝を傳て是を見ざれば強も勅ぜば大羅刀の如くなるべきなるべ
く人を〳〵して元気ぜるい男子の仕業うやうやしくつゝも躁うゐ体人
ろ〳〵人〳〵くを見て感称せり

唐の舞台用亀甲船

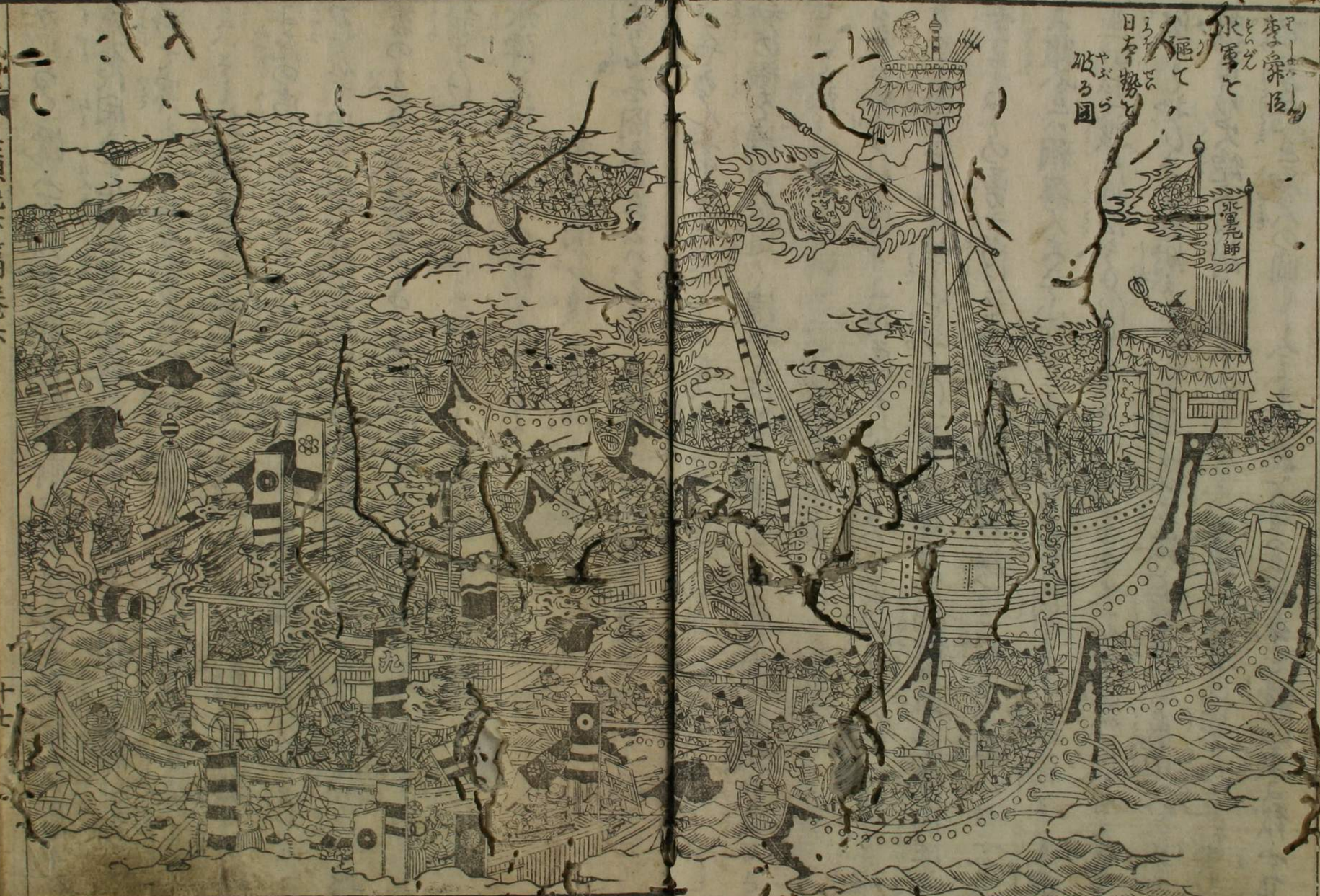
慶尚道右水軍元均の唐船の船軍と日本勢の武勇と恐ま
再び海を見とまじ戦ふ元均船唐船の船軍と焼捨軍を
と海底に沈め落ち死ぬ安度と〳〵の隊列を英勇名と云
若元均人と称め全羅道八道の海濱と固めうる唐の舞台人名と接兵と
元日本勢と再び戦ひ先鋒の船と〳〵唐の舞台人名朝鮮王の
下知を以て先と雖とも元均人名敵て接ひと〳〵く止び
依て兵船に十余艘軍勢二万二千余人と引率唐船名へ到着に
元均人名と敵ひ戦ひ計略を定て戦ひ甚と其軍後退く〳〵唐の舞台人名亀
て日本勢と防ん亀甲の船を造り其制い唐の〳〵兵合せさ
る板を以て船の周囲と下と固く張り亀の甲乃ごとし此板ふ
鉄く接同と穿て大砲鳥銃と備へ兵士及び水を撫て内と隠
れ〳〵前後左右と押回敵船と衝へ〳〵去る
日本船の諸船集りて合戦の後漸〳〵に進んで番

夷狄
良亀
甲冑
を制て
和軍を
禦ぐ図

船とおぼしき所に漕ぐ敵地の船を奪ふ其功を奪ふ
急き押よせ陣頭と突と九本浦坂党等加及兵船と進め
発銃を備へ朝鮮船多の軍兵と軍船数百艘と押出す
甲船と先駆人名元清人名等居名人名等を以て続て結ひ
日本の船ども是を見て一の船印旗指槍長刀朝日よう
矢ごろ近く成れば船漕ぎ接戦べる数百挺の後砲と一日
とおうけ烟り中より突入と先ひ押出る小船亀甲船と
しば急海より一箇の城と構へ一人の士卒と
の陸間より矢と射出る雨より船盤に日本勢等に遠ひる
歌の動静やと指したるひ為ふ浦坂中勢等係三船
る三上り歌と用ゐる船こそ吾日本の旨船と日ど制なるで何程の

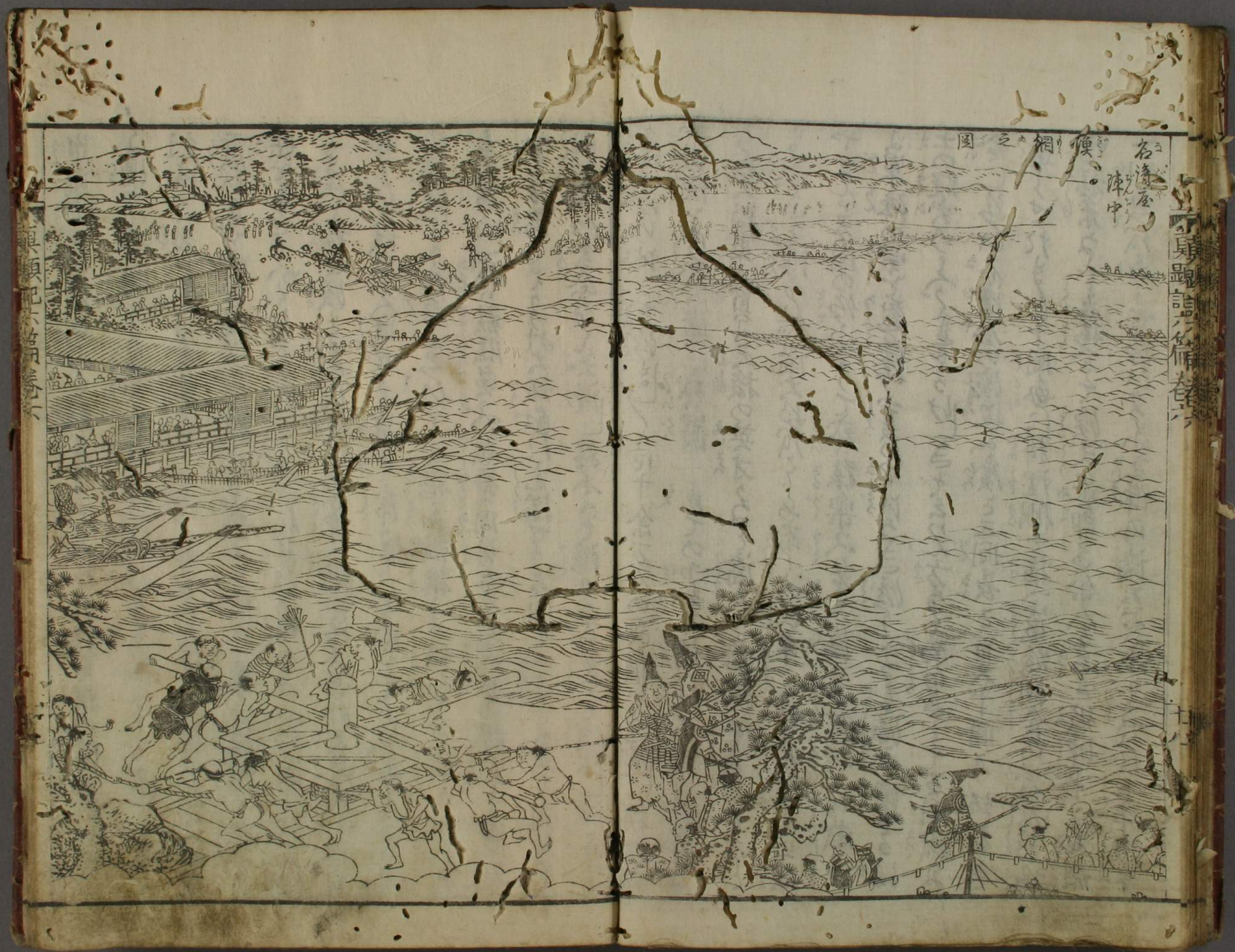
うやみん奈ふ元工ゑ
せよ亀甲船来る矢と切拂ひ
境の撥を傾け歌近く漕入ば加藤堂等
せ〻こ〻く勇と進ひて一日と奈ふ本の西く浦坂と先とさ
る矢の祭これば海中と対落こ金
ち亀甲ば船と対ひ一番と亀甲船と対ふ
奈ふ亦ほどの勇之旁ごと亀甲ば抜三抜こ〻ば
と躍入ば朝鮮人大こ小恐ば矢と敵つ
ば船一艘海ば
ば亀甲船の大船と寄居人日本勢と
と抜きよせ附ふいよと相手の左船と打ふれば亀甲船の国
船百の火炮を日附と開と打出す先と進ば日本の軍船悉
中（老ば）船人の間もこ全ひば船と樓ば士卒と換ば火と戦ふ

李舜臣
水軍と
砲て
日本ノ勢と
破る図



カリ[illegible]ゆ[illegible]の[illegible]紙李舜臣人名[illegible]扇と揚げて味方と招[illegible]萬甲船
[illegible]に用ひ元均人名多く軍勢数百の大船と矣のごく押出[illegible]
[illegible]て寄せ[illegible]ば其本勢大きに小孔と討ち者数と知[illegible]李舜臣人名大
よいさ[illegible]船場の[illegible]より味方の勢と指揮[illegible]ると[illegible]に敵より放つ[illegible]
[illegible]の肩と打ぬき[illegible]流れて[illegible]
力[illegible]肉と裂き[illegible]丸を[illegible]肉に入る手汁李舜臣人名[illegible]
苦の[illegible]ゆ[illegible]の手[illegible]のごとくて[illegible]日我い書[illegible]日本勢逐[illegible]
討ま[illegible]け金山名の[illegible]海に船をまぐ[illegible]朝鮮[illegible]
水陣と[illegible]合戦もなうて[illegible]其後は互に
[illegible]を[illegible]名護屋御陣の形勢

名護屋の地に五陣まで〳〵に十余万人の兵粮と運送朝鮮合戦の後と[illegible]武い罰〳〵[illegible]
[illegible]ぬ大なる軍[illegible]の天授の英才[illegible]諸人[illegible]
も永き五陣なれば諸大名[illegible]の兵卒を退屈[illegible]出来
やせんと[illegible]の仕ふ[illegible]て武い張楽[illegible]の戯[illegible]
[illegible]軍陣の労と慰[illegible]
土の焼[illegible]
令し[illegible]名護屋の濱辺に廣さ三間長さ百又十間の仮家を
造[illegible]たまし十間毎に料理棚と構へ竈焼烟食の茶煎[illegible]塩
嗜[illegible]来るごとに採[illegible]て濱[illegible]
と[illegible]


名濱屋陣中
煙幕之図

近国近在の農民をし群集して丸物し数百艘の漁船網の巡り
を漕ぎ遠浦より魚を出せ陸小藤藤を三網ゑ多く捕りて
別に数しらぬ魚ども有りけるに三尼ゑ大きに六寸鯖を
震ひ尾と呼ぶ魚を捕りける鯖屠山のごとくにして廣き海浦を埋み
岳とあせりかくもろの数多ゑ得るの数をもって先朝
一の尾と称す浦に魚に蓋中(略)殺ふ甚外太政不小政不
抑しび大坂へ進せ給ふ日本国をそこの乗りせ左陣
の備候上下の軍士ひとしく摂五紙捕る仮殺りを殺り料理
云ん方なく無隙魚の肉和ゑ調味の稀数を盛飯
食とる者こそうけ大仮面に元陽せり去国を中ゑ乗り酒をの
国と喰ひ食ふ笑淫(略)殺ふよそ浪ゑ乗ゑ賞ゑ諸大臣と
を(略)の幕下の岳士軍卒ゑ乗ゑ碑と盛長津の長と志
ゑ乗り先中城王の算略任公が若実と西浦(略)御計略なりと陣中
こぞりて称ゑ乗ゑ国乗ゑ国地御左陣のはじめより日
朝鮮国より勝軍の公(略)我のありさまを進せゑ引き加
義を計ひ西ゑ乗ゑと追て先と摘ひいよ〳〵進んで女直を切りび
け小西摂津守王城を渡ゑ朝鮮の大王をも捕ゑせんと
西の方ゑ切入ゑ甚外軍ゑ渡ゑ志摩とはじめ多くの合戦ひ
数射せ乗ゑ者ゑ今ゑ朝鮮の八道大半日本へ切ゑ乗ゑ中ゑ
ゑ乗ゑ国御ゑ乗ゑ者ゑ渡ゑ感状及ひ
力を作(略)場り殺し軍忠と神ゑ朝鮮を平定と(略)と追く御
知ゑ乗ゑ者に小西弥長地義智両人より朝廷(略)書付を

言上し奉り給へ長義智記力と共に朝鮮大王奉り給へ逆義し奉る
平壌城の城と表裏し大王の方宗列地の地へ落行給ふ日本退討
掛ねばならぬ軍略なり不和大明国の軍兵二十余万人朝鮮援ひのため
当府居給ふ新城居平壌城の城へ押よせ給ひ是を攻り給ふ
以数大軍より攻め援兵と揚り某等の力と合せ給ふ事のなるべ
大明の軍勢と廉合し給ふ大明国へ来き勝利を祈へん
事の中よりなるべく大明国へ言上し奉て此有を国へ言
上及びそれに為て大明大援兵の使い御発期のなるべし御を為
の軍兵を加勢なるべし其大ねと義へ給ふる増田右衛門尉長
盛石田治部少輔三成大谷刑部少輔吉継宇喜多秀家
理右衛門尉元春小西摂津守行長加藤主計頭清正黒田
納言秀信御丹波中納言秀勝御長門義弘朗秀一木村常陸
助宗光鍋島内膳正直茂後行切市正直元等を附部合又一万六千余
人とぞ定へ給ふ日本国つゝ給ふい大明二十余万人の軍兵二日
の加勢又一万余人不日と奉る日本国の軍勢を義へ給ふ事大
坂の殿言伍名護屋表の守備の兵其外津々浦々の固め要害の地
悪く要害の兵人々を集めて勝利を祈り給ふ法華経を
法華経に給ふ対馬宗氏御進と出て大明の軍兵二十余万人何ぞ
のゆうひゞ兄氏御と朝鮮と揚り給ふ切腹切腹ふ破り給ふ
さしけるべき国境として不言密民御ゞ大志ゆゑを要と給ふ
対馬の朝鮮より小西摂津守殿義を以て中ゆう国対日本ゆう十
万援兵と海を渡り給ふ押ひて有ゝの城ゝと要国を守らせ

鮮魚を割して
去図
長浜の
労を
慰め
浜の
図

後悪うを絶へさせ「澄系先陣」して大明より切腹小西行長と一番に
奏聞「ひ」と言上した古図新うるづうせ行ひ澄系が智謀危と
そのうれしさに又方の軍兵を渡海せしめ朝鮮大明を兵一附より粉
のごとくなるうんあはいの小賊うんや我戒め拙くしてうるの小国を
すと軍勢よりのをさくこそ備後さしども諸大名よく実より秀
吉功と渡びて中道より起とうるも秀次と大名うるの「朝鮮大明
へ責入附吾魂魄霊より奏り識の擬と働き唐土の奴原一て跳梁して拾
うんより何の難きやみんや若も拓猫を嚙で失とうせ「者のあり」と
実くそ男の名代忘れすと行うるの小能業流秀の側よりみて来い
秀も「此天満宮の御りに」と中以古図勝行おれそ「以よりくこの
落涙相さ人雷とありて天にとて「東山御色」ど吾陽囊の陽うど

もたるし「拙」をと大者の宣ハ薩ハ「みそ今ハ諸大名うの遠ハ附と
起「しうる大膳かるの行りうるとそ」ぞ人毎より移ることり

石田三成示謀島左近

秀の吉公の羅ハ又者の多ハ一人石田治部ハ三成の近ハ国石田村乃
百姓左又右衛門とつの者のみ「が幼稚きより明敏ふく一を学て
十と知ハ本智をなて秀吉より仕ハ尚附ハ別佐和山十八万石と賜り
又者の多の国へ加へらるる天下の政りうる摂ア今日朝鮮加勢の役実乃
癖にみくく古図の厳命諸侯の後論と実居うしよ踏くと心ハの「
まり退く我陣不人論り毛家ハ居治左近と近く石き参とひてら
中ろハ今日本陣より抜ひく朝鮮渡海の軍兵ハ実ろふより諸
侯集り「後ハ」より古図の命に出場ろ「ハ」て中道より世と去らば

大雷霆をあつて大明朝鮮の軍兵と蹴殺もとゞ[illegible]と宣ひぬ素侯
太閤の御言葉に依てちひさうる小威言うれどもそのよう出威勅
うるしども計るまう教るとは放人の眷云今日太閤乃御位一種の
備大ね諸其威気の盛んなる我々素い唯太閤の勢力尽
る御何ととそひ行る我如雑の時より太閤乃軍義をうる
と今年ムく素年の勝敗と計り事と変て勅ものるの名
ねなり三国の攻山海の接戦柴田小柴ら滅亡皆戦いざる素味
方の勝利を知らせ給ふ我ら小今度大明朝鮮の敵と押ける攻て
全き功なく退く対い英名を去る進むとて雑く退くふ[illegible]
き雑く実に謀肋の時絶と図るるをもつ[illegible]めを放をて御[illegible]
落ち給ふ事ものねとは[illegible]ものとて明乃大軍と戦

対い太閤乃御鬱怒ちでまう弘乱して止むまう外と別の郷計みべう
らん我先とうかく心備断ぐ[illegible]いふ[illegible]て朝鮮の和議と調軍
と引て攻囲せば太閤の御奇今より十年と保ち給ふ[illegible]紙とも
ども加藤小西乃軍勇と侍ま自分乃ろる名と輝んと欲ぶ素
いう小心と勇ものるもけう調ふ[illegible]しもうひまう[illegible]汝光功とうひ計
略乃り我と謀反教へよあう諸左近乃ろ若の賢名ふ甚ご中ふう
今太明の軍勝り勝」年壊れと戦小西乃長と見如遠計成
就をべき猶なり若朝鮮と海」給ひ乃長と変ひく浦若の伝
なりと孫しく細くと和議乃ろのを敗乃いせ給ひんと乃長元ごう
[illegible]若の咲拳をんて三月色する者ろれい事ろ其伝乃肯き[illegible]
[illegible]と君と心と合せ機と[illegible]と[illegible]と計と乃ひ給ひ[illegible]

示沢図
詩略と
鴻花近

[illegible]ども[illegible]と[illegible]三嵐大きに[illegible]岸の[illegible]ども[illegible]
[illegible]を[illegible]ぐ[illegible]ども[illegible]左近は退き[illegible]
[illegible]ける岡[illegible]左近いたじけなく[illegible]
[illegible]智勇の者なり[illegible]ぶ[illegible]芸[illegible]後[illegible]の家[illegible]絶せ[illegible]ぶ[illegible]
宮に[illegible]人ありて[illegible]て居さうし[illegible]と三嵐大福と[illegible]て石出ぬ
[illegible]三嵐水[illegible]に[illegible]石の[illegible]ぶ[illegible]岡三嵐とやして
[illegible]と[illegible]人[illegible]と数多石[illegible]三嵐[illegible]
[illegible]左近只一人を[illegible]左近[illegible]
智勇の者[illegible]福[illegible]
と[illegible]三嵐さんひ[illegible]
[illegible]岡甚感じ[illegible]何[illegible]其[illegible]志[illegible]

[illegible]ひうる者[illegible]より[illegible]
十八[illegible]左[illegible]
石出さんとづ[illegible]て三嵐[illegible]心と合せ忠信と[illegible]
[illegible]小西人[illegible]て流退き[illegible]
んとやれども[illegible]石[illegible]
辞して受[illegible]
度乃計議[illegible]

[illegible]例と[illegible]
[illegible]福と[illegible]石仕へ[illegible]て左近と
[illegible]左近[illegible]
[illegible]余乃家[illegible]